

入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成30年10月12日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所長 渡邊 朝生

1. 調 達 内 容

- (1) 調達件名及び数量 第15回日中韓大型クラゲ国際ワークショップ同時通訳業務一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 平成30年12月6日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか、免税事業者であるか、消費税を見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成28・29・30年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「翻訳・通訳・速記」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務に配置する予定者が、水産分野の国際研究会議において二カ国語以上（日本語・中国語・韓国語含む）同時通訳業務を行える通訳者（一般的な水産海洋用語の意味を熟知し、かつ通訳業務経験5年以上の者）であることを証明した者であること。

3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書の交付を受けること。）

① 直接交付
新潟県新潟市中央区水道町1丁目5939番地22
国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所業務推進部業務管理課用度係
電話 025-228-0451
FAX 025-224-0950

② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「第15回日中韓大型クラゲ国際ワークショップ同時通訳業務入札説明書宅配便にて希望」と記し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

③ メールによる交付
任意書式に「第15回日中韓大型クラゲ国際ワークショップ同時通訳業務入札説明書メールにて希望」と記し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入 札 説 明 会 の 日 時 及 び 場 所 等

仕様書等に関し質疑がある場合には、平成30年10月

- ④ 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。また、応募若しくは応募又は契約の締結をおこなうにあたり、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大、学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 第 1 5 回日中韓大型クラゲ国際ワークショップ同時通訳業務
2. 業務目的 平成 3 0 年度水産庁補助事業「大型クラゲ国際共同調査事業」の一環としての研究交流活動を推進するため、大型クラゲ国際ワークショップが日本で開催される。本業務は、その際に必要な三カ国語同時通訳業務を行うことを目的とする。
3. 業務場所 福岡県福岡市内及び山口県下関市近郊
研究発表会及びレセプション場所：福岡ガーデンパレス
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-8-15 Tel: 092-713-1112
現地視察場所：水産大学校
〒759-6595 山口県下関市永田本町 2-7-1
※詳細については別途指示する
4. 業務期限 平成 3 0 年 1 2 月 3 日～平成 3 0 年 1 2 月 6 日
※詳細は別紙通訳業務日程表のとおりとする。
5. 業務内容 本ワークショップ（研究発表会、レセプション、現地視察）では、日中韓の研究者が参加し、大型クラゲに関する最新の研究成果発表をはじめ、研究情報の交換、今後の協力に関する意見交換を母国語によって行うため、以下のとおり通訳業務を行うこと。
すべての会議およびレセプションにおいて、同一通訳者が会議およびレセプションの最後まで業務を行うこと。
なお、本ワークショップにおいては、リレー形式での通訳を行わないこととする。
 - ① 本ワークショップ前日に行われる日中韓責任者によるワークショップ事前打ち合わせを行う際に通訳者 1 名もしくは 3 名以上（日本語・中国語・韓国語の三カ国語通訳を行える通訳者がいる場合には 1 名以上、二カ国語通訳者（日⇔中、中⇔韓、韓⇔日）で三カ国語通訳を対応する場合は 3 名以上）を配置し、1 時間程度逐次通訳業務を行うこと。
 - ② 研究発表会において日本語・中国語・韓国語通訳者 2 名もしくは 3 名以上（日本語・中国語・韓国語の三カ国語同時通訳を行える通訳者がいる場合には 2 名以上、二カ国語通訳者（日⇔中、中⇔韓、韓⇔日）で三カ国語同時通訳を対応する場合は 3 名以上）を配置し、同時通訳送信システムを用いて講演者とほぼ同時に通訳を行うこと。なお、同

時通訳送信システムについては、請負業者が準備すること。詳細は別紙「同時通訳送信システムについて」のとおり。

(参考資料として平成29年度ワークショッププログラム(中国開催)を添付する)

- ③ 研究発表会開催後に予定しているレセプションに通訳者1名もしくは3名以上(日本語・中国語・韓国語の三カ国語通訳を行える通訳者がいる場合には1名以上、二カ国語通訳者(日⇔中、中⇔韓、韓⇔日)で三カ国語通訳を対応する場合は3名以上)を配置し、日中韓の良好な情報交換および交流の場となるよう適切な逐次通訳を行うこと。
- ④ 現地視察(水産大学校を予定)を行う際に通訳者1名もしくは3名以上(日本語・中国語・韓国語の三カ国語通訳を行える通訳者がいる場合には1名以上、二カ国語通訳者(日⇔中、中⇔韓、韓⇔日)で三カ国語通訳を対応する場合は3名以上)を配置し、日中韓の関係者間の逐次通訳業務を行うこと。また、現地視察通訳業務の際、同時通訳送信システムの送信機・受信機を使用すること。詳細は別紙「同時通訳送信システムについて」のとおり。

(現地視察の場所までの移動については、主催者側が用意する)

6. その他

- 1) 本業務を遂行する者は、水産分野の国際研究会議において二カ国語以上(日本語・中国語・韓国語含む)同時通訳業務を行える通訳者(一般的な水産海洋用語の意味を熟知し、かつ通訳業務経験5年以上の者)であることを証明できる者とする。
- 2) 本業務に必要な交通費等は業務請負業者の負担とする。
- 3) 宿泊ホテルについては、本ワークショップ会場(福岡市内のホテル)とする。また、同じ場所をとることができない場合は、近隣ホテルとすること。
- 4) 会議等の開催時間及び終了時間については、予定から変更する場合がある。
- 5) 担当者から事前に送付するワークショップ発表内容を十分把握し、通訳業務が完全に履行できるよう準備しておくこと。
- 6) 本会議の開始前に、横浜市(場所は担当者と協議の上決定する)において担当者と2時間程度の事前打ち合わせを行うものとする。ただし、本業務を過去に請負実績がある場合には、事前打ち合わせを省略することができる。
- 7) 本業務で知り得た知識、情報は、他に漏らしてはならない。
- 8) 本仕様書は概要を示したものであり、詳細について疑義が生じた場合は担当者と協議の上、その指示に従うものとする。

通訳業務日程表

日程		業務仕様書 (5. 業務内容)	行程・会議名
月日	時間		
12月3日			福岡ガーデンパレス到着
	19:00 ～ 20:00	①	日中韓責任者によるワークショップ事前打ち合わせ
12月4日	9:00 ～ 18:00	②	日中韓大型クラゲ国際研究発表会
	19:00 ～ 21:00	③	レセプション
12月5日	9:00 ～ 18:00	②	日中韓大型クラゲ国際研究発表会
	19:00 ～ 21:00	③	レセプション
12月6日	9:00 ～ 18:00	④	現地視察
12月7日			

別紙

同時通訳送信システムについて

詳細は次のとおりとする。

規 格	簡易型同時通訳送信システム チャンネル切替により、3チャンネル以上使用できるもの
数 量	送信機：3台 受信機：100台 充電器：3台 (ブース、コントローラー、エンジニア含む)
使用日程	平成30年12月4日～平成30年12月6日 3日間 日中韓大型クラゲ国際研究発表会及び現地視察においてのみ使用する。 ただし、現地視察においてブース、コントローラーは使用しない。
特記事項	1) 第15回日中韓大型クラゲ国際研究発表会及び現地視察において本機器を用いて通訳業務を行う。 2) 機器は、日本の電波法に対応したものであること。 3) 当所の職員等の故意若しくは過失による修理等は当所の責において実施するものとする。

14th International Jellyfish Workshop

Nov. 27~Dec. 1 2017, Shanghai, China

(3rd Floor, Yellow River Conference Room, Dianyuan Hotel)

Date / Time	Title	Name
Nov 27	Arrival	
Nov 28		
9:00-9:20	Registration	
9:20-9:40	Opening session	J. H. CHENG
Session I: Review on jellyfish studies in China, Japan and Korea		Chair: H. IIZUMI
9:40-10:00	Study on jellyfish in China in 2017	J.H.CHENG (China)
10:00-10:20	Studies on the giant jellyfish in Japan in 2017	T. WATANABE (Japan)
10:20-10:40	Study on jellyfish in Korea in 2017	W. LIM (Korea)
10:40-11:00	Coffee Break	
Session II: Jellyfish Distribution		Chair: Dr. W. LIM
11:00-11:20	Giant jellyfish appearance along Japanese coasts in 2017	H. IIZUMI (Japan)
11:20-11:40	Distribution of <i>Nemopilema nomurai</i> in the Tsushima Strait determined by visual survey from a ferry "New Camellia" in 2017	N. IGUCHI (Japan)
11:40-12:00	Progress and achievements on Jellyfish bloom control through polyp elimination in Korea	G. LEE (Korea)
12:00-14:00	Lunch (2nd Floor, Weber Hall & Watt Hall)	
Chair: T. WATANABE		
14:30-14:50	Young <i>Nemopilema nomurai</i> collected from the northern East China Sea in 2016	M. KAWAMURA (Japan)
14:50-15:10	Distribution of <i>Nemopilema nomurai</i> in the East China Sea in 2017	H. YAMADA (Japan)
15:10-15:30	Preliminary study on the distribution of <i>Nemopilema nomurai</i> of the Bohai and northwestern Yellow seas	W. YOON (Korea)
15:30-15:50	Spatio-temporal distribution of the giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in the East Asian waters by sighting survey: 2017	H. IKEDA (Japan)
15:50-16:10	Coffee Break	

Chair: J. DONG		
16:10-16:30	The quantification of abundance and distribution of giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in inshore waters of the northern Liaodong Bay with a Dual-frequency Identification Sonar(DIDSON)	B. WANG (China)
16:30-16:50	Distribution of Nomura's jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in the East China Sea using multibeam echosounder in 2017	T. MATSUURA (Japan)
16:50-17:10	Distribution of <i>Nemopilema nomurai</i> in the offshore waters of the Japan Sea in the autumn of 2017	N. HONDA (Japan)
17:10-17:30	Distribution characteristics of <i>Nemopilema nomurai</i> in the East China Sea and Yellow Sea during autumn 2017	J.S.LI (China)
18:00-	Banquet	
Nov 29		
Session II: Jellyfish Distribution		Chair: W. YOON
9:00-9:20	Comparative analysis on the appearance of the giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in 2006 and 2007 in Yellow Sea	T. Setou (Japan)
9:20-9:40	Distribution of the giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in the East Asian waters by sighting survey	C. HAN (Korea)
9:40-10:00	Research of abundance in scyphomedusae including <i>Aurelia coerulea</i> by eye	H. ISHII (Japan)
Session III: Biology / Ecology of Jellyfish		
10:00-10:20	Introduction to a Continuous China Jellyfish Project	F. ZHANG (China)
10:20-10:40	Coffee Break	
Chair: Shin-ichi UYE		
10:20-10:40	Population dynamics, seasonal and annual variation in abundance, advection of <i>Nemopilema nomurai</i> in the northern part of Bohai Sea, China in 2005-2017	J. DONG (China)
10:40-11:00	Selective suppression of in situ proliferation of scyphozoan polyps by biofouling	S. FENG (China)
11:00-11:20	Effects of temperature on key life cycle stages of <i>Nemopilema nomurai</i>	M. SUN (China)
11:20-11:40	The effects of salinity on the sexual reproduction stage (fertilized eggs to fully-developed scyphistoma) of <i>Nemopilema nomurai</i>	Y. CHAI (China)
11:40-12:00	The growth and survival of <i>Aurelia</i> sp. 1 ephyrae in relation to temperature and salinity	Y. DUAN (China)
12:00-14:00	Lunch (2nd Floor, Weber Hall & Watt Hall)	
Chair: F. ZHANG		

14:30-14:50	Polyp mapping of <i>Aurelia</i> sp. 1	J. CHAE (Korea)
14:50-15:10	Population dynamics of three Scyphozoan jellyfish species during summer of 2017 in the adjacent waters of Hongyanhe, Bohai Sea	Y. WANG (China)
15:10-15:30	Jellyfish fisheries in Ariake Bay	M. TOYOKAWA (Japan)
15:30-15:50	Coffee Break	
Chair: TOYOKAWA		
15:50-16:10	The accumulated effect of temperature on the <i>Aurelia coerulea</i> strobilation process	N. WANG (China)
16:10-16:30	Experimental clearance rates of <i>Aurelia coerulea</i> ephyra and young medusa feeding on different zooplankton preys	P. WANG (China)
16:30-16:50	Distribution and breeding grounds of giant jellyfish <i>Nemopilema nomurai</i> in the Yellow sea of China and the East China Sea, based on analysis of seawater samples	M.LIU (China)
16:50-17:00	Coffee Break	
17:00-18:00	Discussion	Co-Chair: CHENG, WATANABE, LIM
18:30-	Banquet	
Nov 30		
9:00-11:00	Representative meeting among JKC	
11:30-12:30	Lunch (2nd Floor, Weber Hall & Watt Hall)	
13:00-18:00	Visit for Nature Reserve of Chinese Sturgeon	
18:30-	Banquet	
Dec 1	Departure	